

一般社団法人 Civil ユーザ会

代表理事 藤澤 泰雄

2019年1月17日

ベストプラクティスの展開について

ベストプラクティスを小学館のデジタル大辞泉で引くところ書いてあります。

「最良の実践法。最善の方法」

BIM/CIM 推進の為に多くの取組みを Civil ユーザ会は行っており、さらに深化させながら進めています。

BIM/CIM 推進のための PC 構成や、ソフトウェアの効率的な使い方をはじめ、BIM/CIM の背景や現状の最新取組みなど、ユーザ会という立ち位置で、利用者目線で必要な情報をタイムリーに提供し、実業務にフィードバックしてもらう流れを構築してきました。

オペレーションのみならず、プレゼン能力も求められるインストラクターとしての独自資格制度を作り、現在では 20 名ほどのインストラクターが育ってきています。

一般社団法人 Civil ユーザ会では、これらの活動を通じて人材育成を強固にすすめておりますが、信念としているのは、「Change or Die」であり、「変化しないこと、それは死を意味する」というものです。

BIM/CIM は、ツールを活用することで既存の業務プロセスを効率化するだけでなく、大きな業務プロセスの変革をもたらすものです、まさに「Change」が意味するものです。ここでいう Change は、変化という簡単なものではなく「変革」なのです。それを進めるためには、常に変化・変革を起こす BIM/CIM への人材教育を含めた展開が重要です。

よって、一般社団法人 Civil ユーザ会のベストプラクティスの横展開は「Change or Die」(変化しないこと、それは死を意味する)を座右の銘として、その精神・考え方・行動力のすべてをユーザ会の人が自分のプロセスとして認識・自覚して、自らが先頭に立ち、多くの人を引っ張っていくアーリーアダプターを育てる場を提供することを意識して展開しています。

「Change or Die」

すべての BIM/CIM の携わる人に幸あれ。

